



履修履歴活用コンソーシアム～「学び」と「働く」の架け橋に～

2021年新卒採用活動における 履修履歴活用実態調査

2020年9月

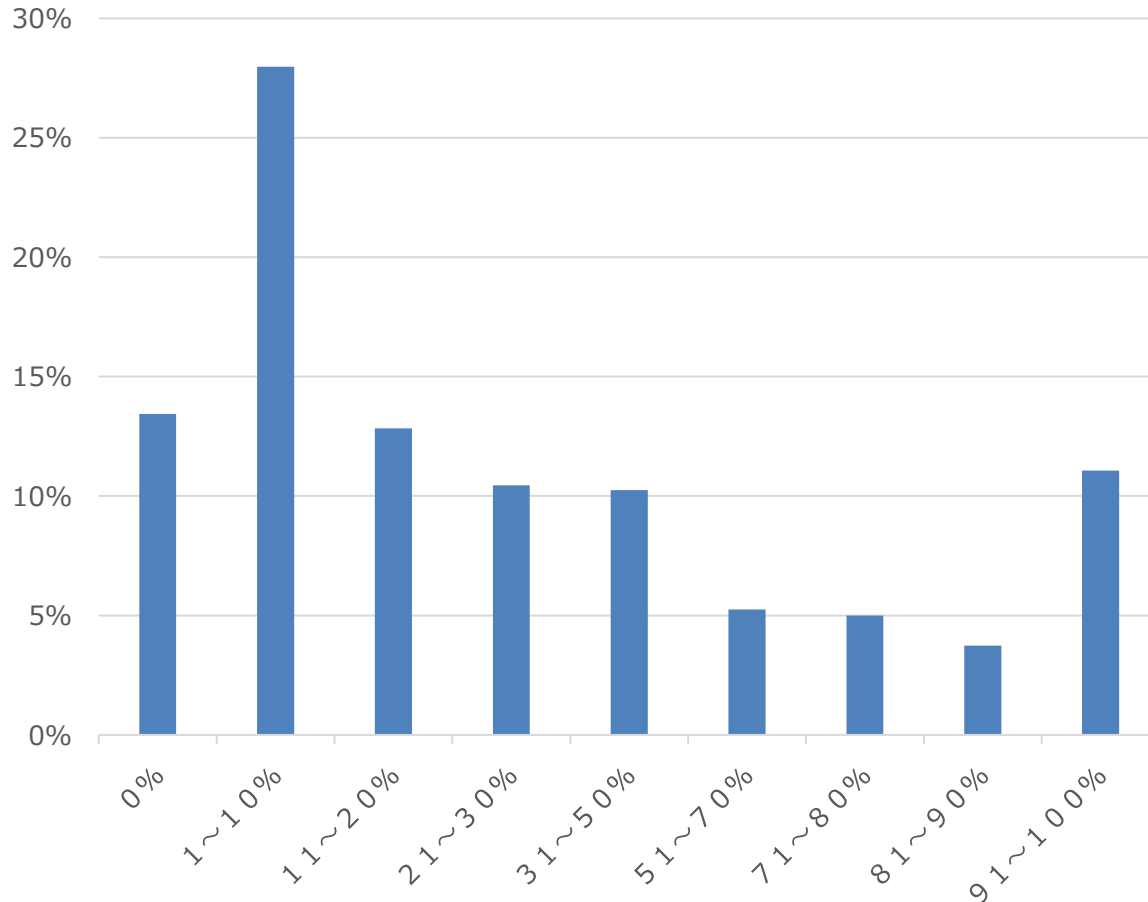
アンケート概要

このたび履修履歴活用コンソーシアムでは、2021年新卒採用における履修履歴活用実態調査（新卒採用における企業の履修履歴の取得・活用状況調査）を、コンソーシアム加盟企業が運営する就職サイトの会員を対象に本年の6月下旬から7月下旬にかけて実施いたしました。

- 調査実施者：履修履歴活用コンソーシアム <http://risyu-katsu.jp/>
- 実施期間：2020年6月25日～2020年7月31日
- 調査対象：2021年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
(コンソーシアム加盟各社が運営する就職サイト会員学生)
- 調査方法：Eメールにてアンケートへの回答を依頼。学生はWeb上のアンケートフォームより入力
- 回答数：1,980名（文系1,096名、理系884名）



質問1：応募時（本エントリー時）に、履修履歴の提出を求められた企業の割合を教えてください。



回答の選択肢	回答数	
0%	266	13.4%
1~10%	554	28.0%
11~20%	254	12.8%
21~30%	207	10.5%
31~50%	203	10.3%
51~70%	104	5.3%
71~80%	99	5.0%
81~90%	74	3.7%
91~100%	219	11.1%
合計	1980	100%



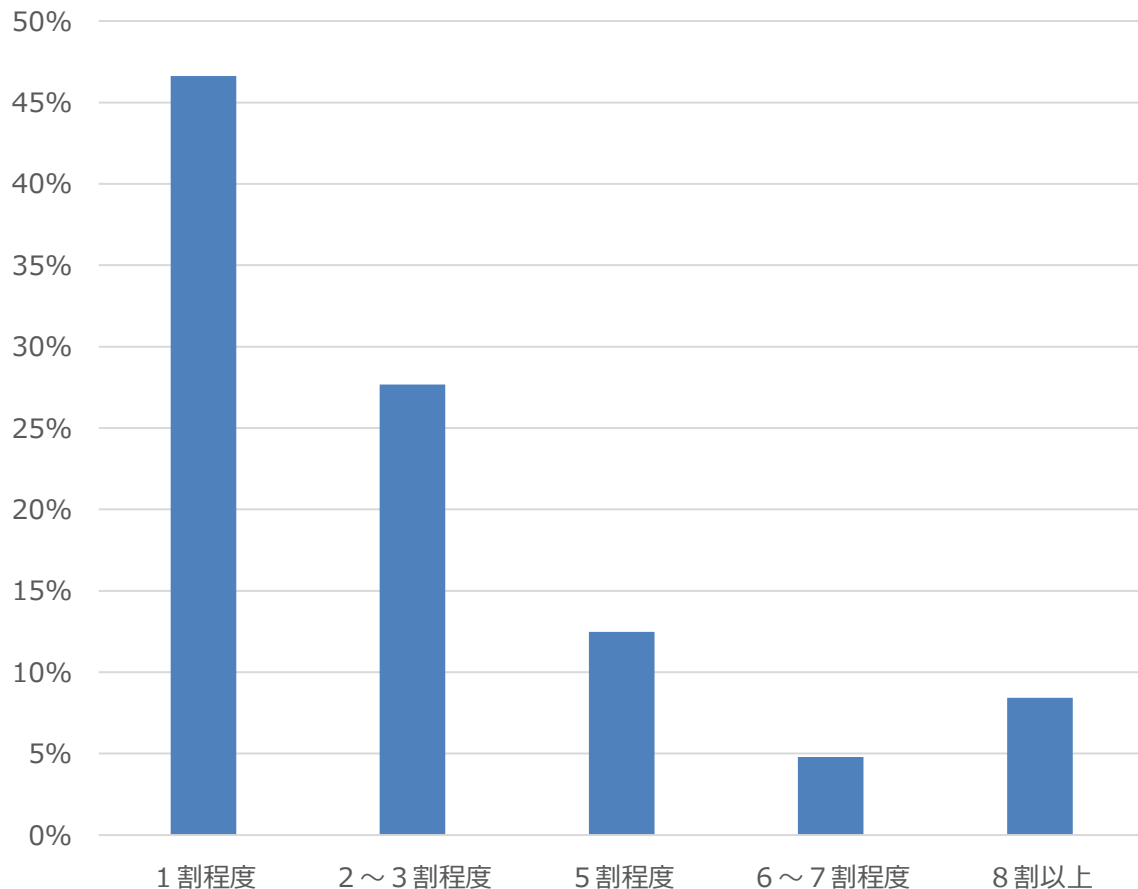
質問2：履修履歴の提出を、選考の早期段階で求めている企業名を教えてください。

- A) 応募時に提出を求められた企業
- B) 応募時ではないが、1次選考までに提出を求められた企業

回答結果は下記W e b サイトにて公開しております
<http://risyu-katsu.jp/reports2021company/>



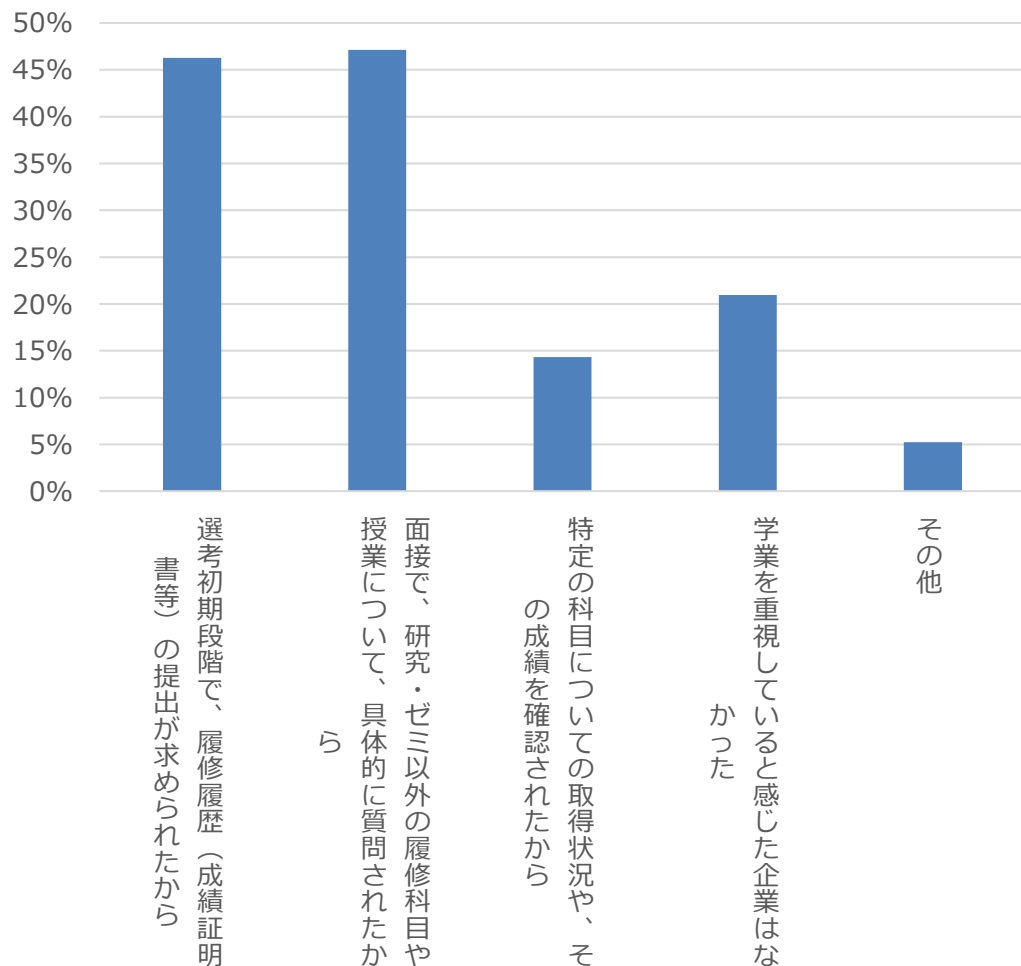
質問3:採用選考において、学業を重視していると感じた企業の割合を教えてください。



回答の選択肢	回答数	
1割程度	923	46.6%
2~3割程度	548	27.7%
5割程度	247	12.5%
6~7割程度	95	4.8%
8割以上	167	8.4%
合計	1980	100%

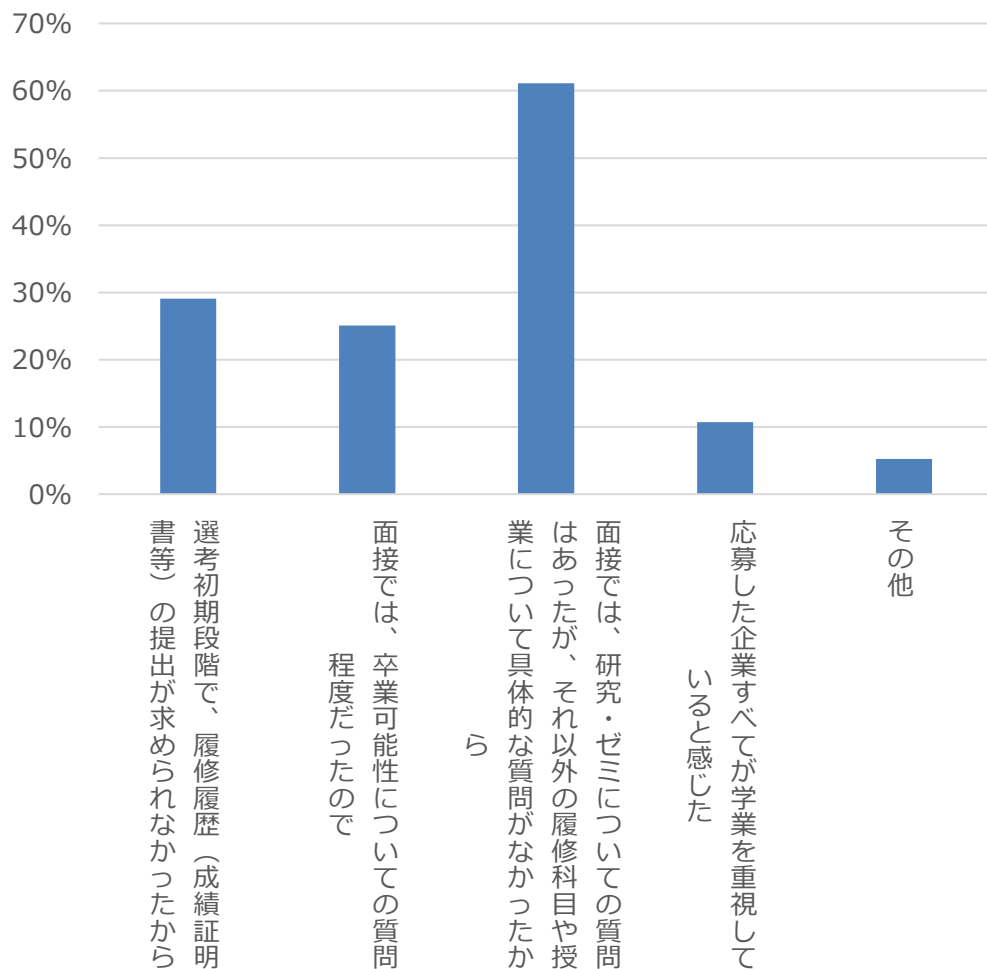


質問4: 学業を重視していると感じた理由を教えてください。(複数回答可)



回答の選択肢	回答数	
選考初期段階で、履修履歴（成績証明書等）の提出が求められたから	916	46.3%
面接で、研究・ゼミ以外の履修科目や授業について、具体的に質問されたから	933	47.1%
特定の科目についての取得状況や、その成績を確認されたから	284	14.3%
学業を重視していると感じた企業はなかった	415	21.0%
その他	104	5.3%
合計	1980	100%

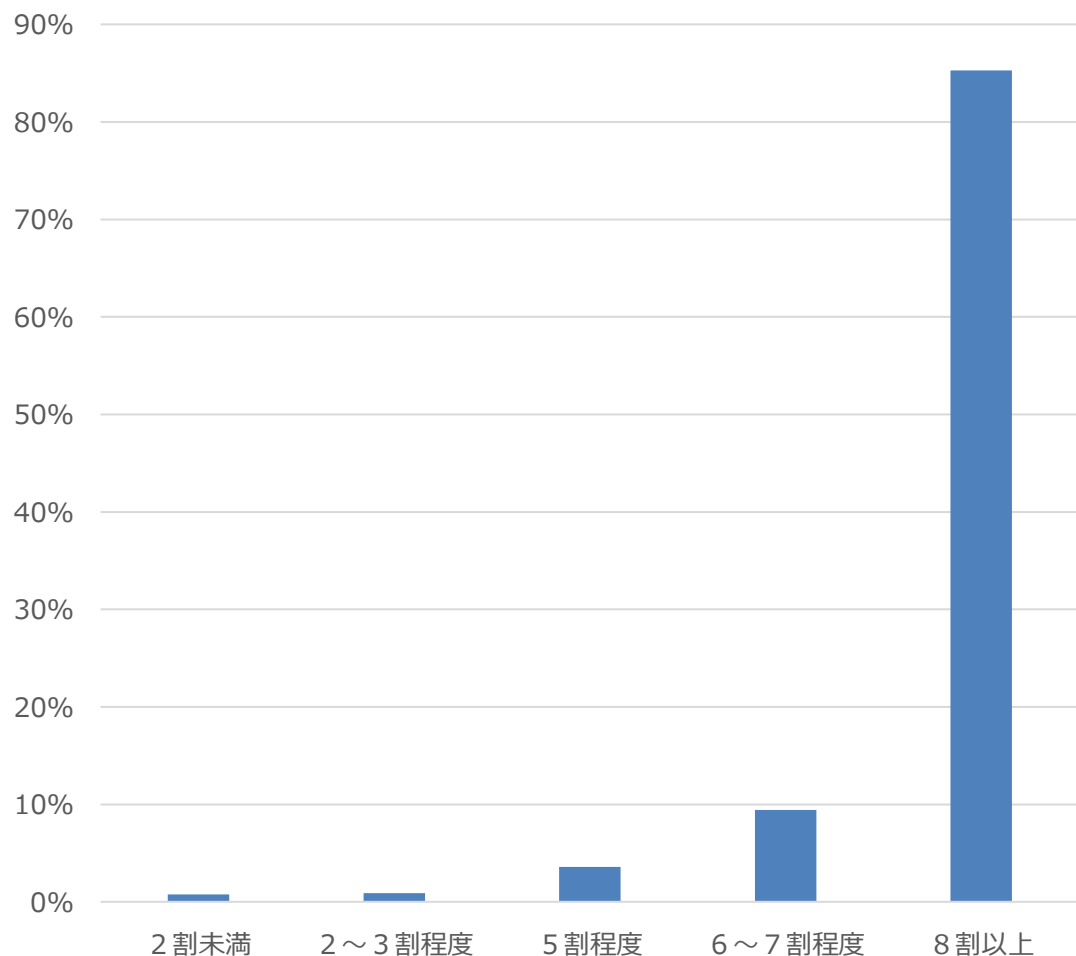
質問5: 学業を重視していると感じなかった理由を教えてください (複数回答可)



回答の選択肢	回答数	
選考初期段階で、履修履歴（成績証明書等）の提出が求められなかったから	576	29.1%
面接では、卒業可能性についての質問程度だったので	497	25.1%
面接では、研究・ゼミについての質問はあったが、それ以外の履修科目や授業について具体的な質問がなかったから	1210	61.1%
応募した企業すべてが学業を重視していると感じた	212	10.70%
その他	104	5.3%
合計	1980	100%



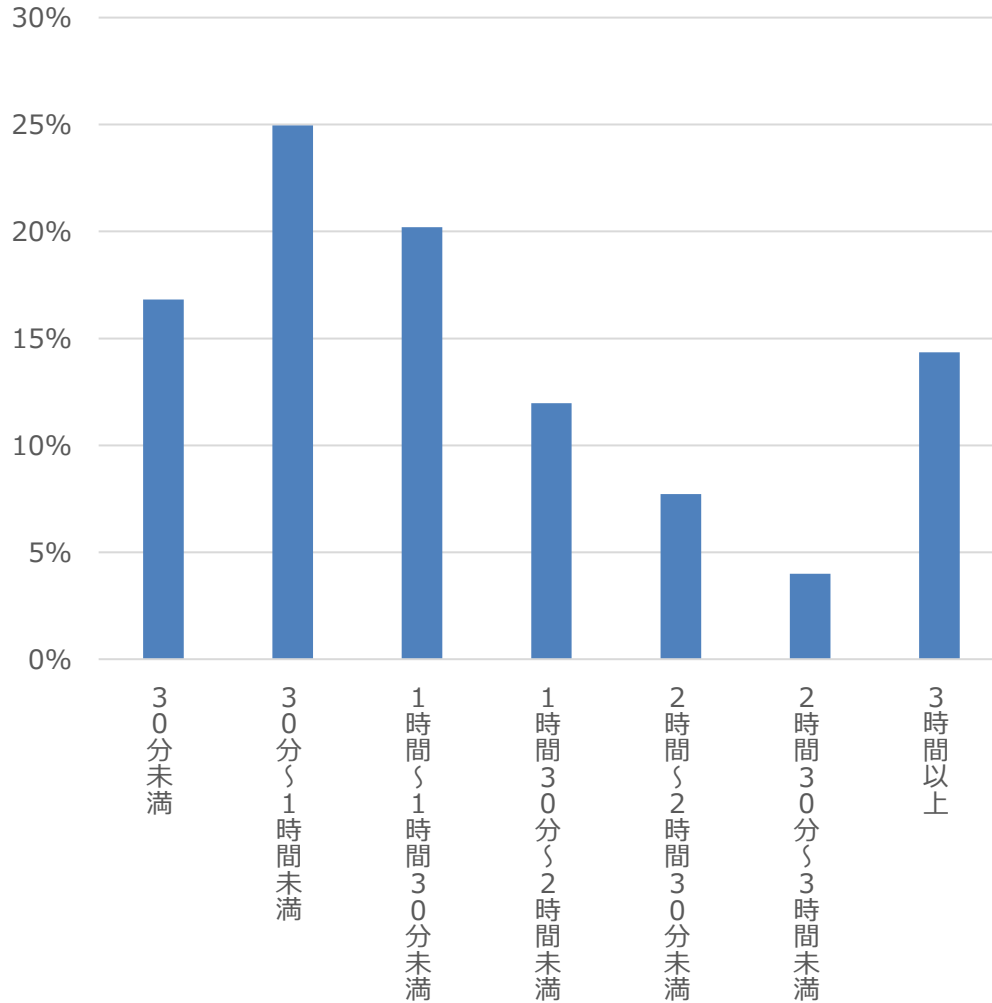
質問6:授業にはどの程度出席していましたか



回答の選択肢	回答数	
2割未満	15	0.8%
2~3割程度	18	0.9%
5割程度	71	3.6%
6~7割程度	187	9.4%
8割以上	1689	85.3%
合計	1980	100%



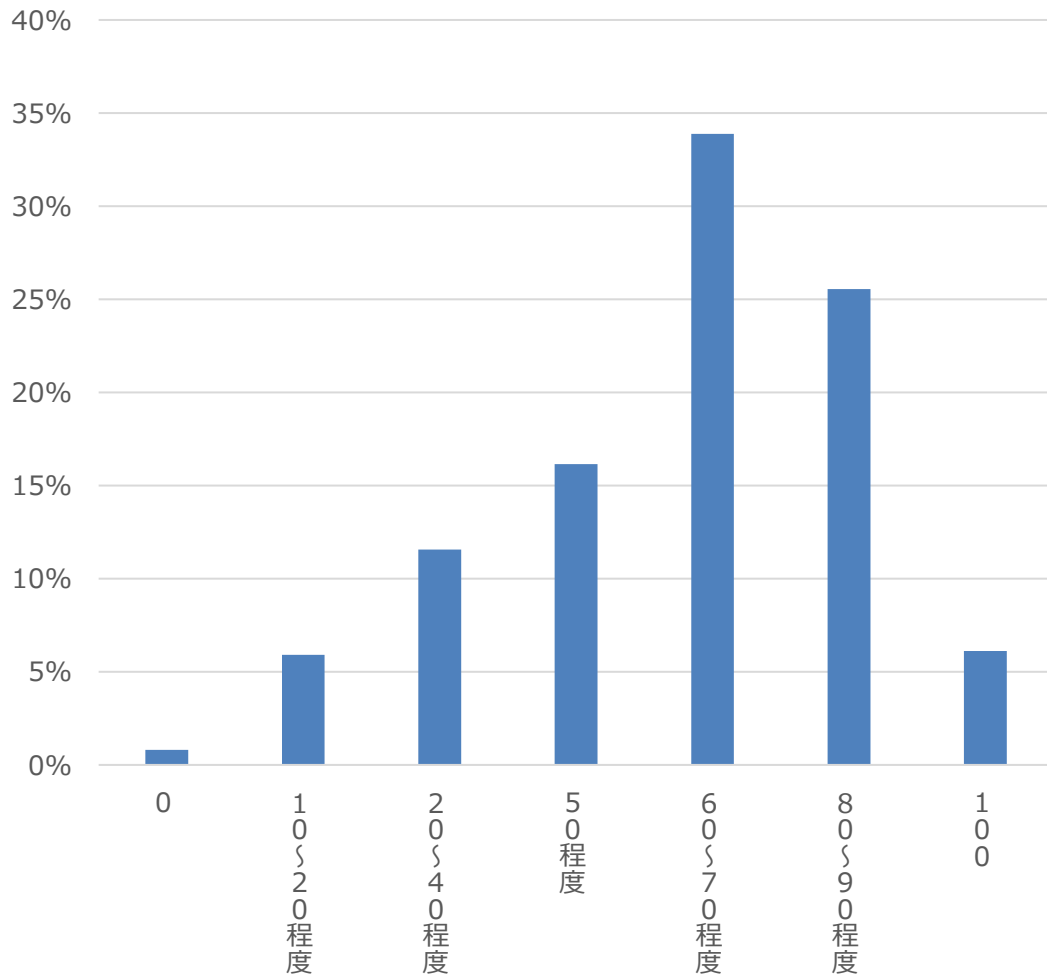
質問7:「授業以外での自習（予習や復習、研究など）」の一日の平均時間はどれくらいですか（大学内外あわせた時間を教えてください）



回答の選択肢	回答数	
30分未満	333	16.8%
30分～1時間未満	494	24.9%
1時間～1時間30分未満	400	20.2%
1時間30分～2時間未満	237	12.0%
2時間～2時間30分未満	153	7.7%
2時間30分～3時間未満	79	4.0%
3時間以上	284	14.3%
合計	1980	100%



質問8: 学業には、どの程度力を入れて取り組んできましたか (ご自身の中で最大限の力の入れ具合を100としてご回答ください)

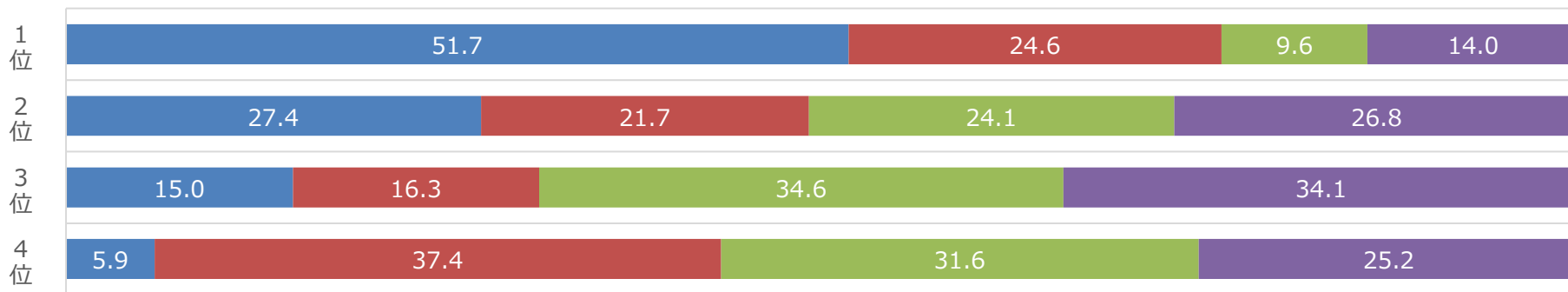


回答の選択肢	回答数	
0	16	0.8%
10~20程度	117	5.9%
20~40程度	229	11.6%
50程度	320	16.2%
60~70程度	671	33.9%
80~90程度	506	25.6%
100	121	6.1%
合計	1980	100%



質問9: 次のそれぞれの領域は、あなたの学生生活の中でどのくらい重要ですか。1位から4位の順位をつけてください

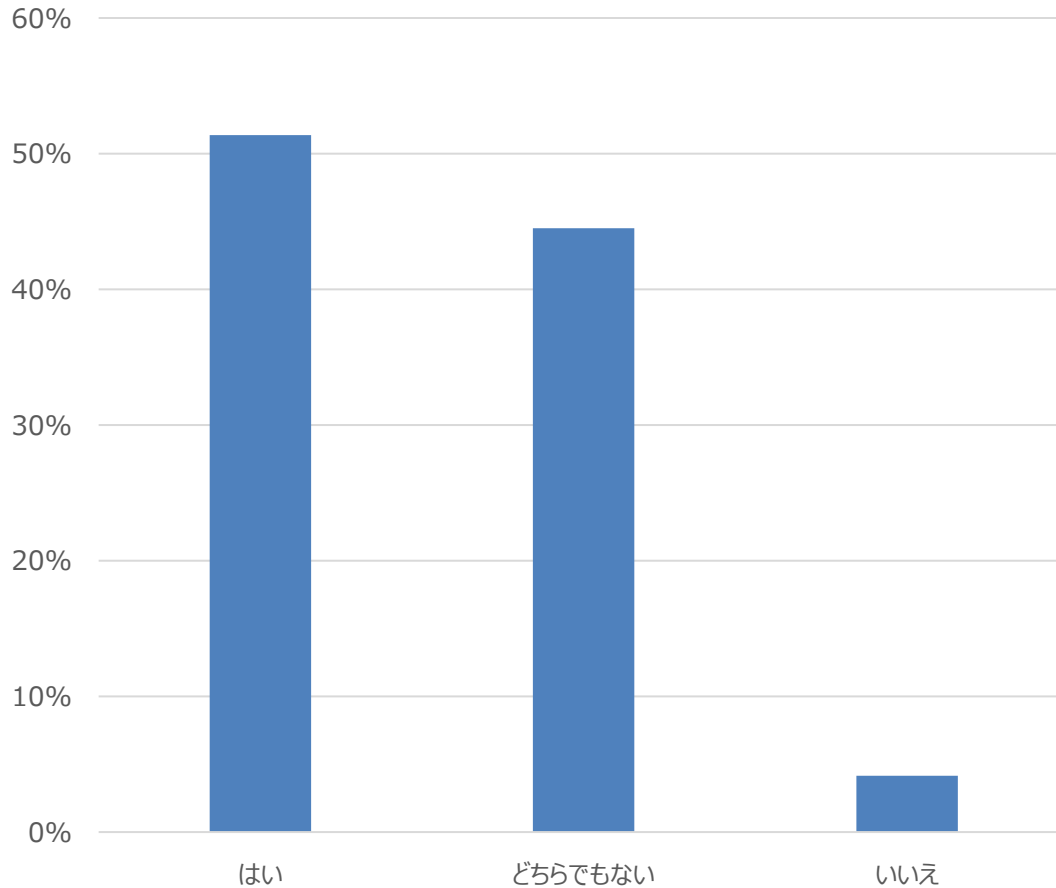
■ 授業・ゼミなどの学業 ■ 部活やサークル ■ アルバイト ■ 学外での活動（遊びも含む）



	1位		2位		3位		4位	
授業・ゼミなどの学業	51.7%	1024	27.4%	543	15.0%	297	5.9%	116
部活やサークル	24.6%	488	21.7%	429	16.3%	322	37.4%	741
アルバイト	9.6%	191	24.1%	478	34.6%	686	31.6%	625
学外での活動（遊びも含む）	14.0%	277	26.8%	530	34.1%	675	25.2%	498



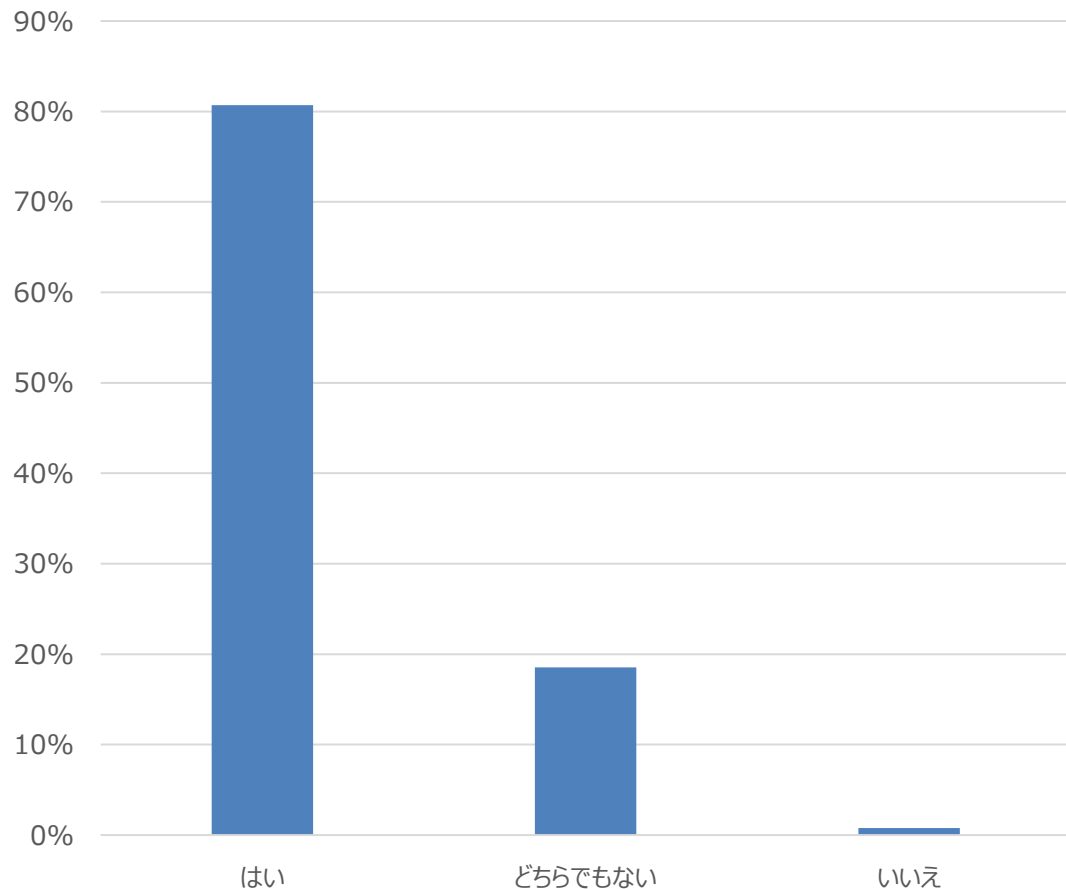
質問10:選考時、学業のことを聞いてくれる企業の印象は良いですか？



回答の選択肢	回答数	
はい	1017	51.4%
どちらでもない	881	44.5%
いいえ	82	4.1%
合計	1980	100%



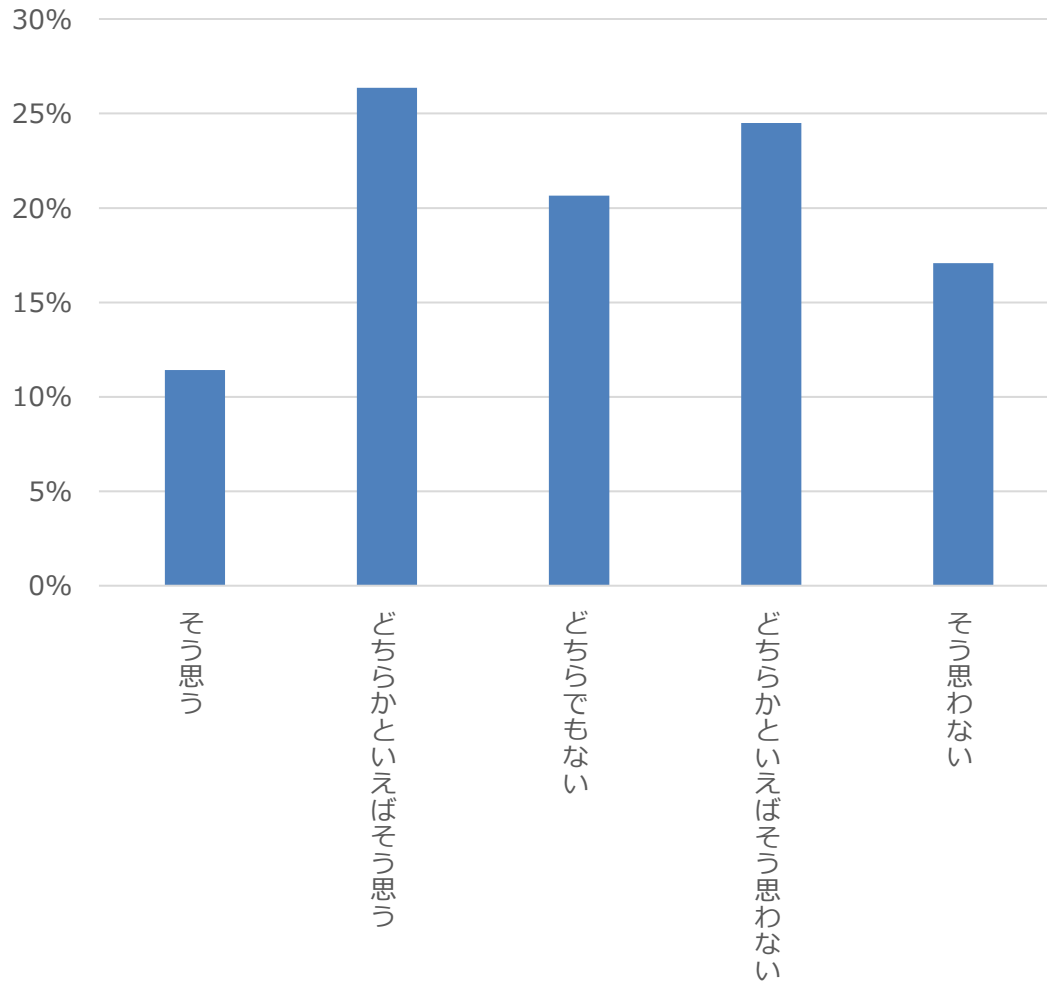
質問11:選考時、学業と学業外両面から質問する企業の印象は良いですか？



回答の選択肢	回答数	
はい	1598	80.7%
どちらでもない	367	18.5%
いいえ	15	0.8%
合計	1980	100%



質問12:採用選考において、企業は学業を軽視していると思いますか？



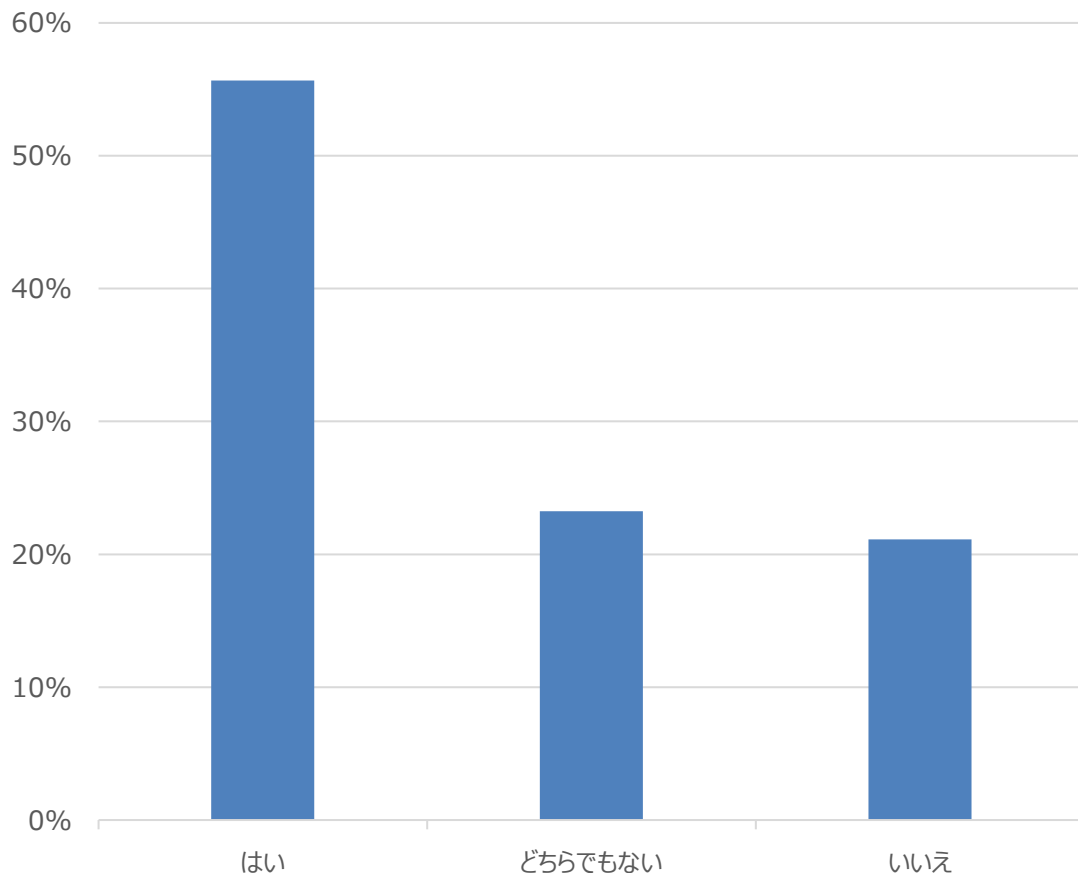
回答の選択肢	回答数	
そう思う	226	11.4%
どちらかといえばそう思う	522	26.4%
どちらでもない	409	20.7%
どちらかといえばそう思わない	485	24.5%
そう思わない	338	17.1%
合計	1980	100%




質問13:企業が面接で、学業に関する質問を積極的にすると、学生の学業への向き合い方は変わりますか？

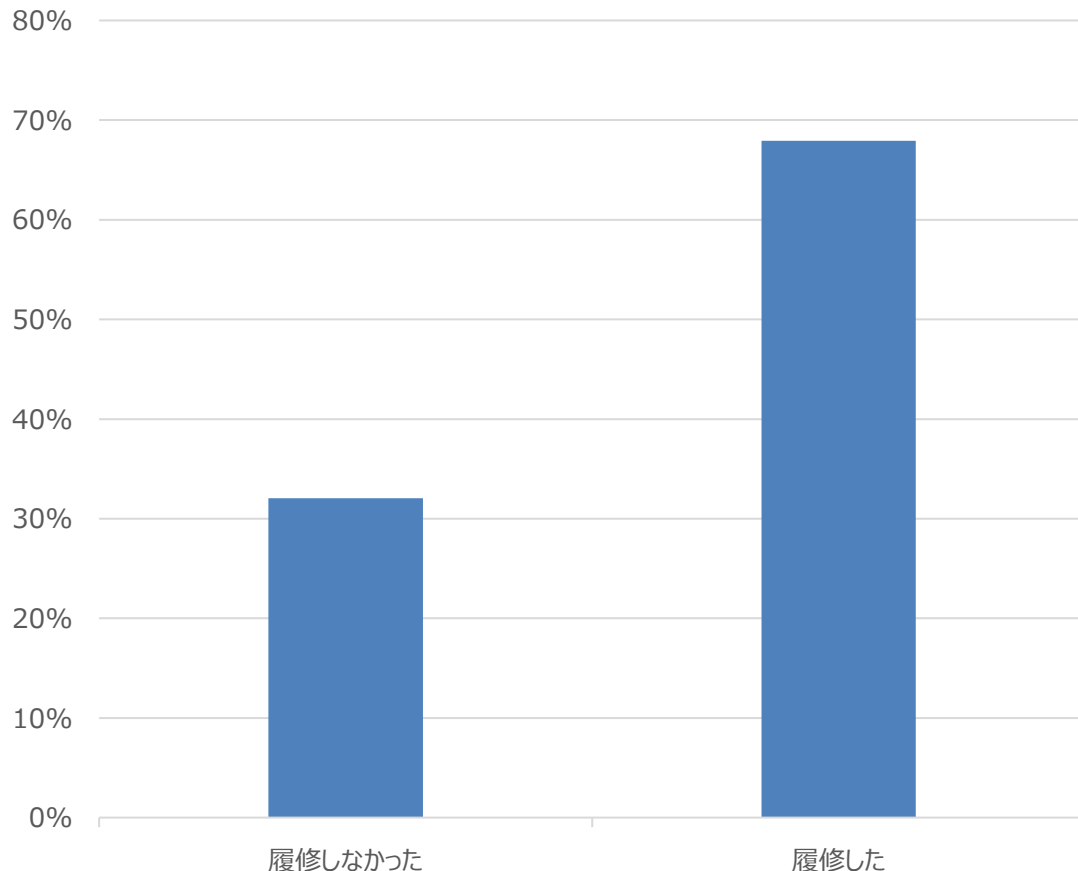
※学業に関する質問の例

「力を入れた授業、興味を持った授業等」「具体的な授業の内容」「学業と学業外のバランスやその理由」



回答の選択肢	回答数	
はい	1102	55.7%
どちらでもない	460	23.2%
いいえ	418	21.1%
合計	1980	100%

 **質問14:どのような科目を、どのような目的で履修しましたか。**
授業は簡単ではなく、評価もしっかりしてくれる科目
(評価が厳しいと言われる科目)

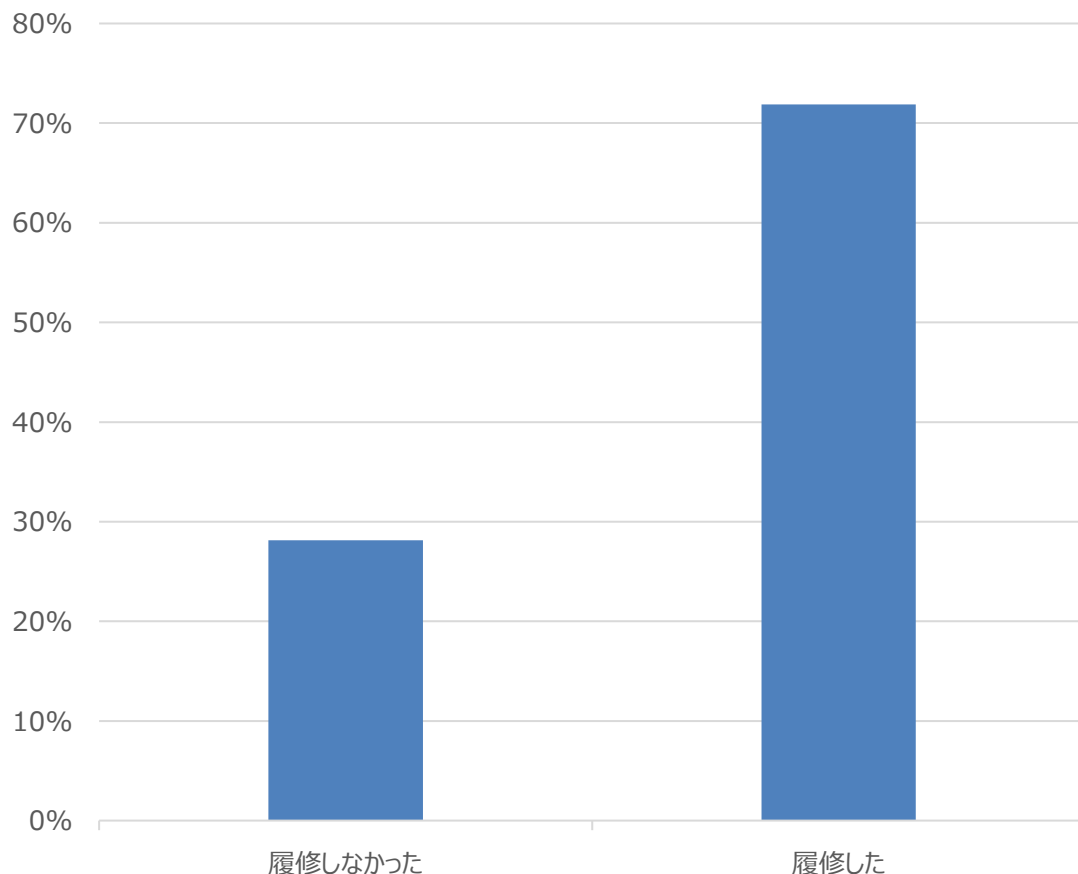


回答の選択肢	回答数	
履修しなかった	635	32.1%
履修した	1345	67.9%
合計	1980	100%

【科目】

スペイン語・プログラミング応用・マイクロ経済学・英語・応用化学実験・応用数理・化学・機械力学・教職課程・経営管理・経営戦略・憲法・言語学・構造力学・国際関係論・国際法・材料工学・材料力学・財政学・心理統計学・人的資源管理論・数学系・生化学
設計製図・地球物理学・中国語・哲学・電気回路・半導体工学・法学概論・有機化学・量子力学・労働法 など


質問15:どのような科目を、どのような目的で履修しましたか。 卒業後（入社後）役に立つと思う科目

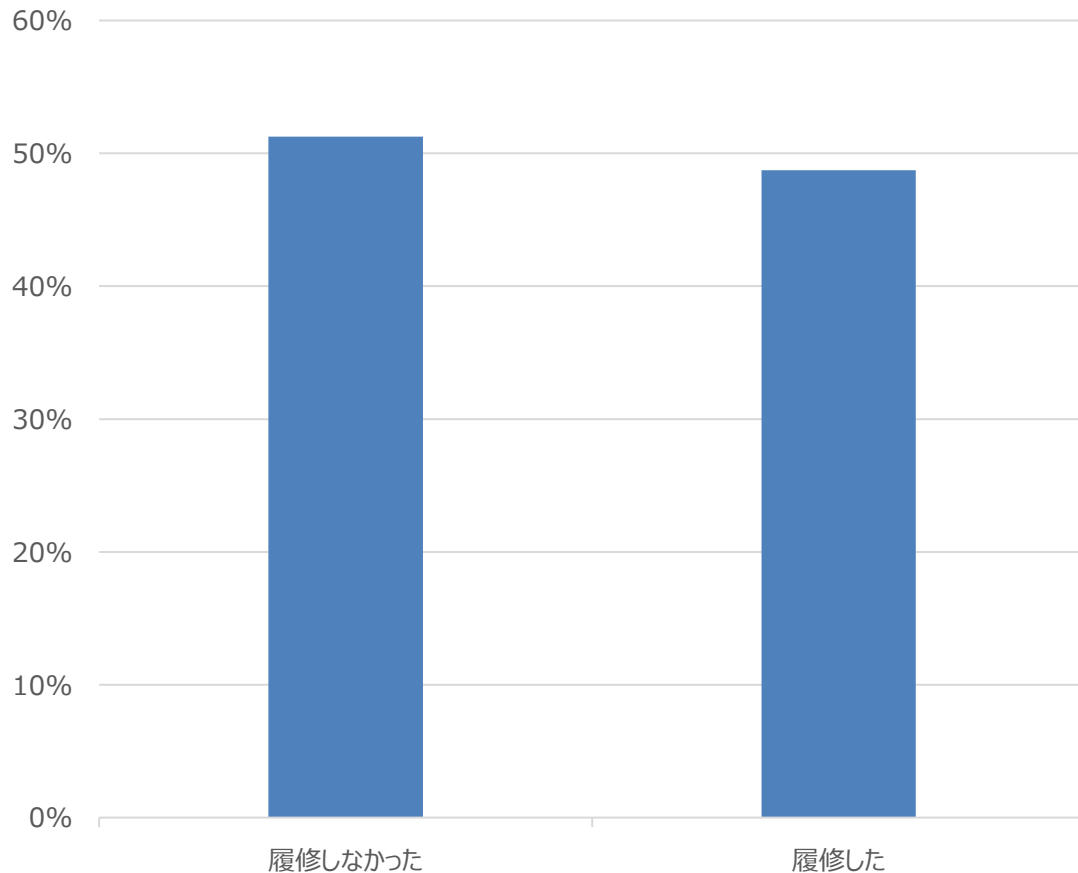


回答の選択肢	回答数	
履修しなかった	557	28.1%
履修した	1423	71.9%
合計	1980	100%

【科目】

CAD・Webプログラミング・キャリアデザイン・キャリアマネジメント・コンピュータネットワーク・データベース・ネットワーク・ビジネスマナー・ビジネス中国語・ファイナンス・プレゼンテーション・プログラミング・マーケティング・英語・化学工学・会計学・経営学・企業会計・企業分析・企業論・全部・機械学習・教育学・金融論・経営戦略論・経済学・現代社会と法・雇用関係法・交渉学・材料学・材料力学・財務会計論・社会学・情報・情報処理・心理学・数学・生活と金融・製図・中国語・統計学・簿記・民法・有機化学・労働法 など


 **質問16:どのような科目を、どのような目的で履修しましたか。**
理工系素養を高めるために、役に立つと思う科目
(ご自身の学科が文系理系問わず、ご回答ください)

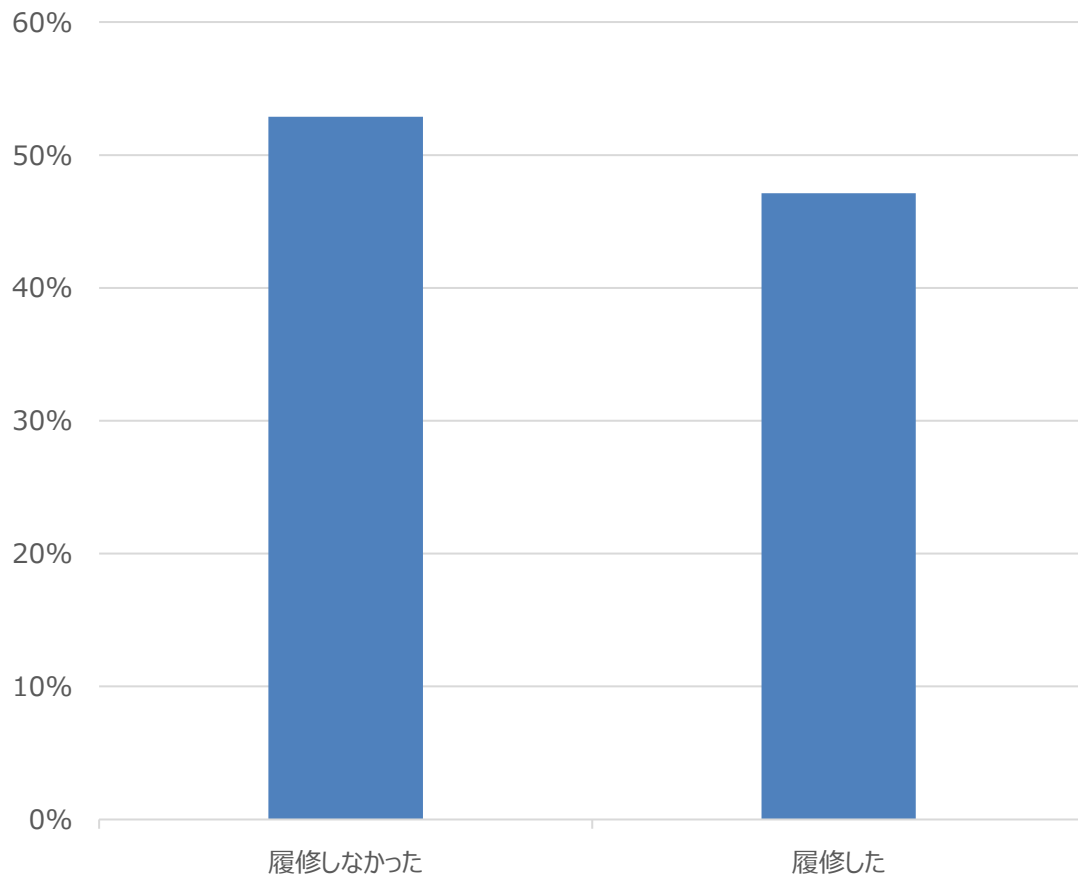


回答の選択肢	回答数	
	履修しなかった	1015
履修した	965	48.7%
合計	1980	100%

【科目】

5カ全て・パワーエレクトロニクス工学・プログラミング・遺伝学・応用化学・化学・化学基礎・化学工学・科学史・解析学・確率統計・基礎化学・基礎物理学・経済数学・計量経済学・工学系全般・構造力学・材料力学・自然科学・情報科学・情報学・情報処理・数学・生産管理論・生物化学・生命科学・線形代数・地球の科学・統計学・微分積分・物質と科学・物理学・有機化学・量子情報制御・力学 など

 質問17:どのような科目を、どのような目的で履修しましたか。
I T系素養を高めるために、役に立つと思う科目
(ご自身の学科が文系理系問わず、ご回答ください)

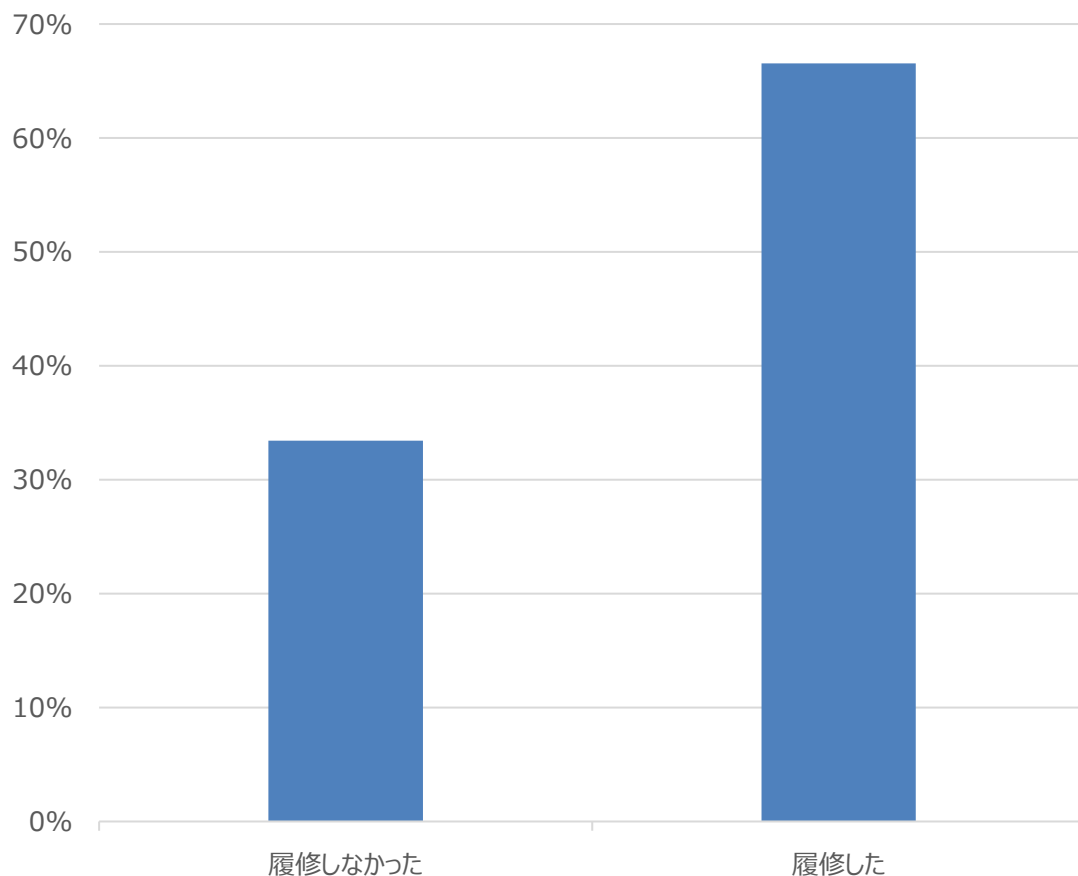


回答の選択肢	回答数	
履修しなかった	1047	52.9%
履修した	933	47.1%
合計	1980	100%

【科目】
プログラミング入門・Cプログラミング・c言語・ICT・IT基礎・アルゴリズムA・
オペレーティングシステム・コンピューター演習・コンピューター実習・コンピュー
タネットワーク・データベース・データ分析・プログラミング演習・回帰分析・
計算機工学・情報・情報システム工学・情報リテラシー・情報科学・情報
基礎・情報処理・統計学・論理学 など



質問18:どのような科目を、どのような目的で履修しましたか。 その他の理由で、積極的に履修した科目 (自らの可能性を広げるためなど)



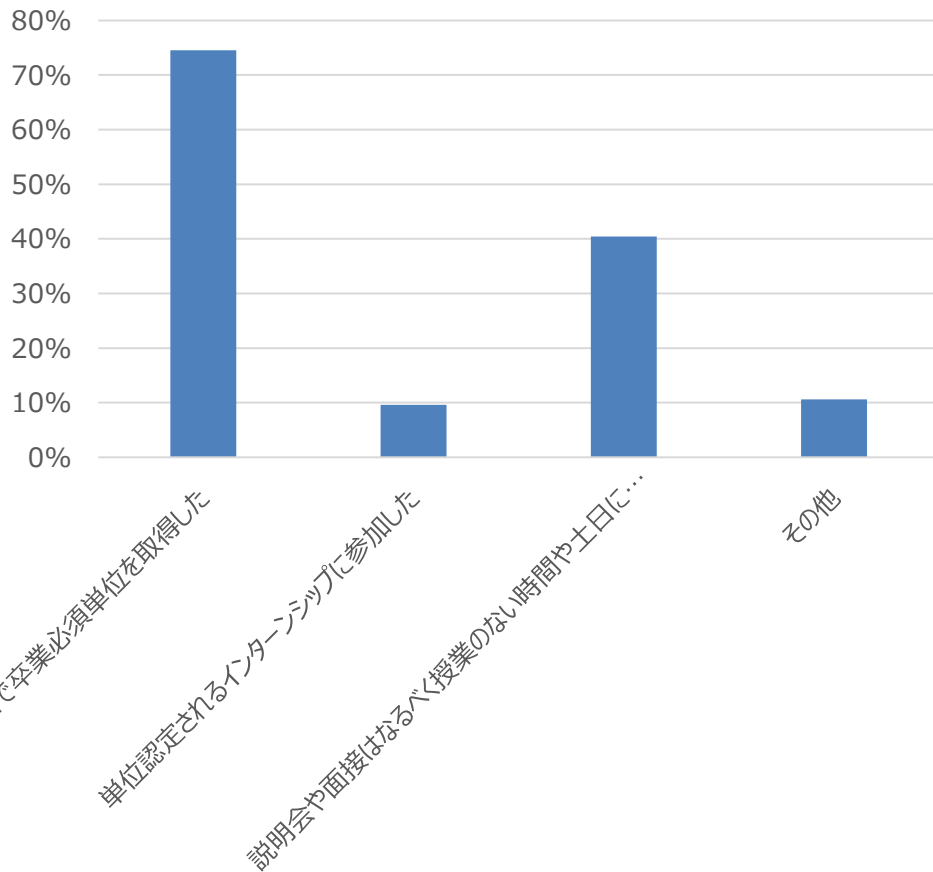
回答の選択肢	回答数	
履修しなかった	662	33.4%
履修した	1318	66.6%
合計	1980	100%

【科目】

イスラーム法・イノベーション概論・ギリシャ語・サービスラーニング・ジェンダー論・スペイン語・ドイツ語・ビジネス英語・フランス語・ボランティア論・ラテン語・ロシア語・宇宙の科学・英語コミュニケーション論・会計学・海外研修・海洋科学・外交論・学芸員関連科目・韓国語・起業と経営・教育学・教職・経営・経済学・芸術学・憲法・現代生活論・香料料科学・国際法・司書課程・社会学・女性のキャリア・商店立地論・情報リテラシー・心理学・進化論・人権論・図書館史・生産管理・生物反応工学・組織管理・他学部の授業・他専攻実習・地域共生演習・中国語・哲学・統計学基礎・日本国憲法・農業政策論・物理学・文化人類学・簿記・法学・民法・倫理学・労働法 など



質問19: 学業と就職活動を両立させるにあたり、工夫したことがあれば教えてください

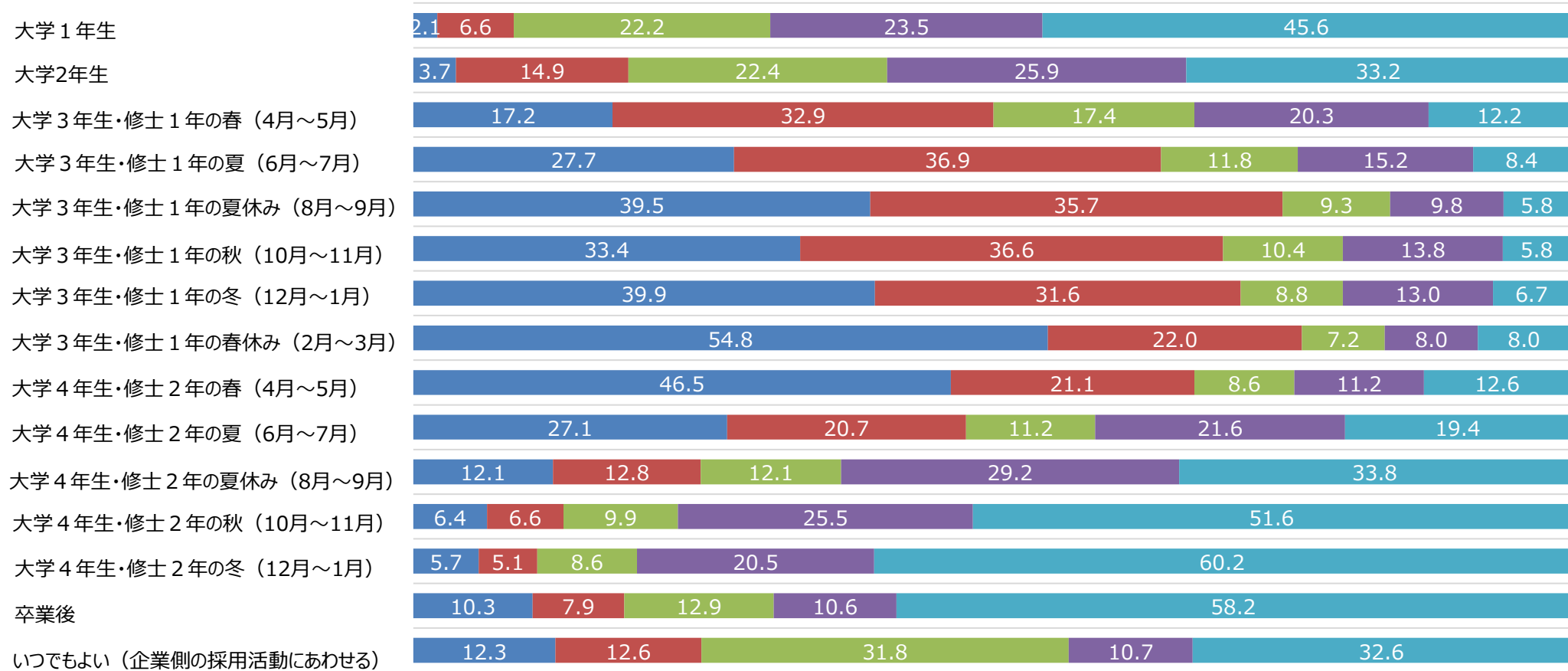


回答の選択肢	回答数	
なるべく早い段階で卒業必須単位を取得した	1476	74.5%
単位認定されるインターンシップに参加した	190	9.6%
説明会や面接はなるべく授業のない時間や土日に入れた	800	40.4%
その他	210	10.6%
合計	1980	100%



質問20:ご自身が実現したい学業・学びのために、就職活動はいつごろおこなうのがいいですか

■ベスト ■ベター ■いずれでもない ■できれば避けたい ■絶対に避けたい

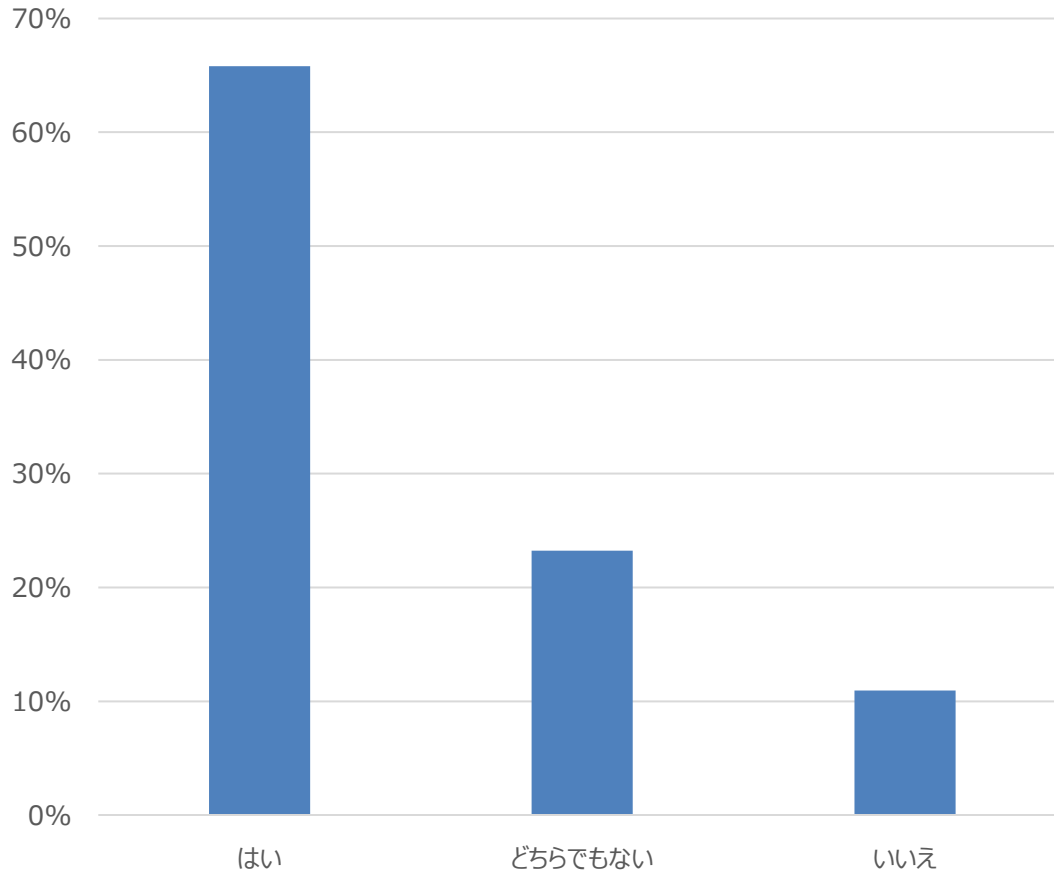




	ベスト		ベター		いずれでもない		できれば避けたい		絶対に避けたい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
大学1年生	41	2.1%	131	6.6%	439	22.2%	466	23.5%	903	45.6%
大学2年生	73	3.7%	295	14.9%	443	22.4%	512	25.9%	657	33.2%
大学3年生・修士1年の春（4月～5月）	341	17.2%	652	32.9%	344	17.4%	401	20.3%	242	12.2%
大学3年生・修士1年の夏（6月～7月）	549	27.7%	731	36.9%	234	11.8%	300	15.2%	166	8.4%
大学3年生・修士1年の夏休み（8月～9月）	782	39.5%	706	35.7%	184	9.3%	194	9.8%	114	5.8%
大学3年生・修士1年の秋（10月～11月）	662	33.4%	724	36.6%	205	10.4%	274	13.8%	115	5.8%
大学3年生・修士1年の冬（12月～1月）	790	39.9%	626	31.6%	175	8.8%	257	13.0%	132	6.7%
大学3年生・修士1年の春休み（2月～3月）	1086	54.8%	435	22.0%	142	7.2%	159	8.0%	158	8.0%
大学4年生・修士2年の春（4月～5月）	920	46.5%	417	21.1%	171	8.6%	222	11.2%	250	12.6%
大学4年生・修士2年の夏（6月～7月）	537	27.1%	409	20.7%	221	11.2%	428	21.6%	385	19.4%
大学4年生・修士2年の夏休み（8月～9月）	239	12.1%	253	12.8%	240	12.1%	579	29.2%	669	33.8%
大学4年生・修士2年の秋（10月～11月）	126	6.4%	131	6.6%	196	9.9%	505	25.5%	1022	51.6%
大学4年生・修士2年の冬（12月～1月）	112	5.7%	100	5.1%	171	8.6%	406	20.5%	1191	60.2%
卒業後	204	10.3%	157	7.9%	256	12.9%	210	10.6%	1153	58.2%
いつでもよい（企業側の採用活動にあわせる）	243	12.3%	250	12.6%	629	31.8%	212	10.7%	646	32.6%



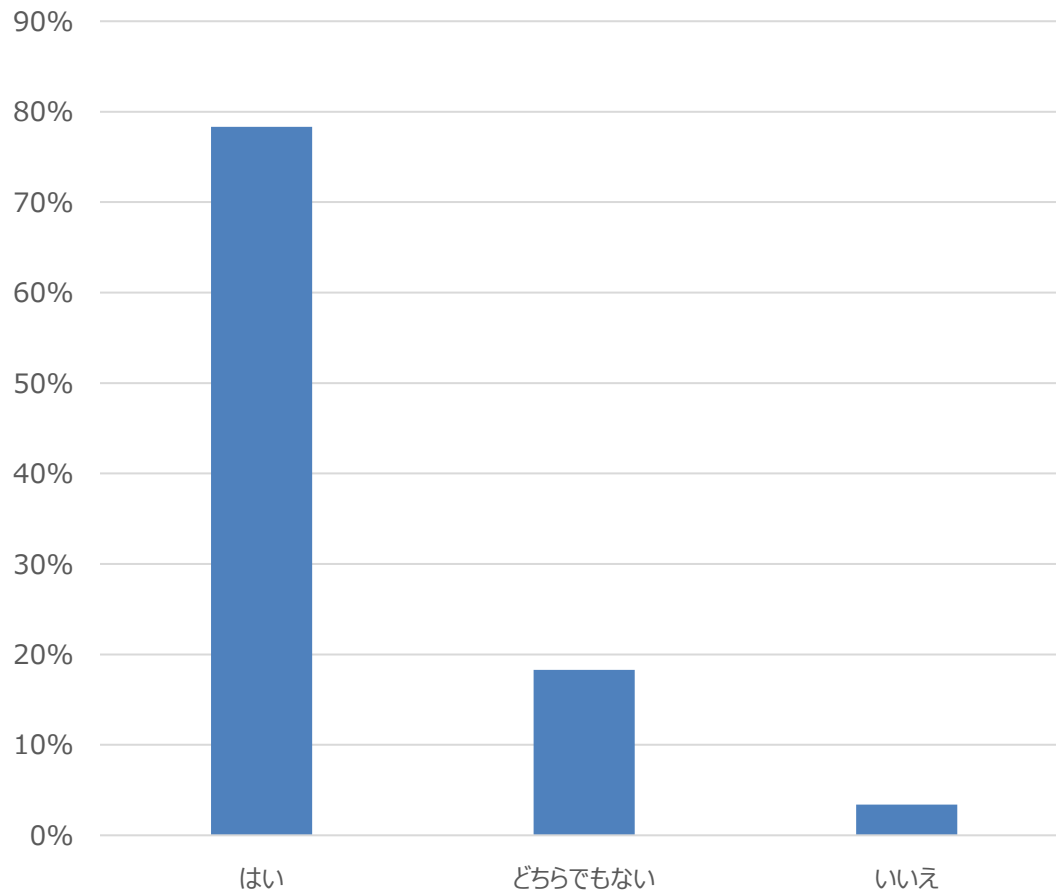
質問21: 学業に力を入れることは、就職活動で重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
	数	割合
はい	1303	65.8%
どちらでもない	460	23.2%
いいえ	217	11.0%
合計	1980	100%



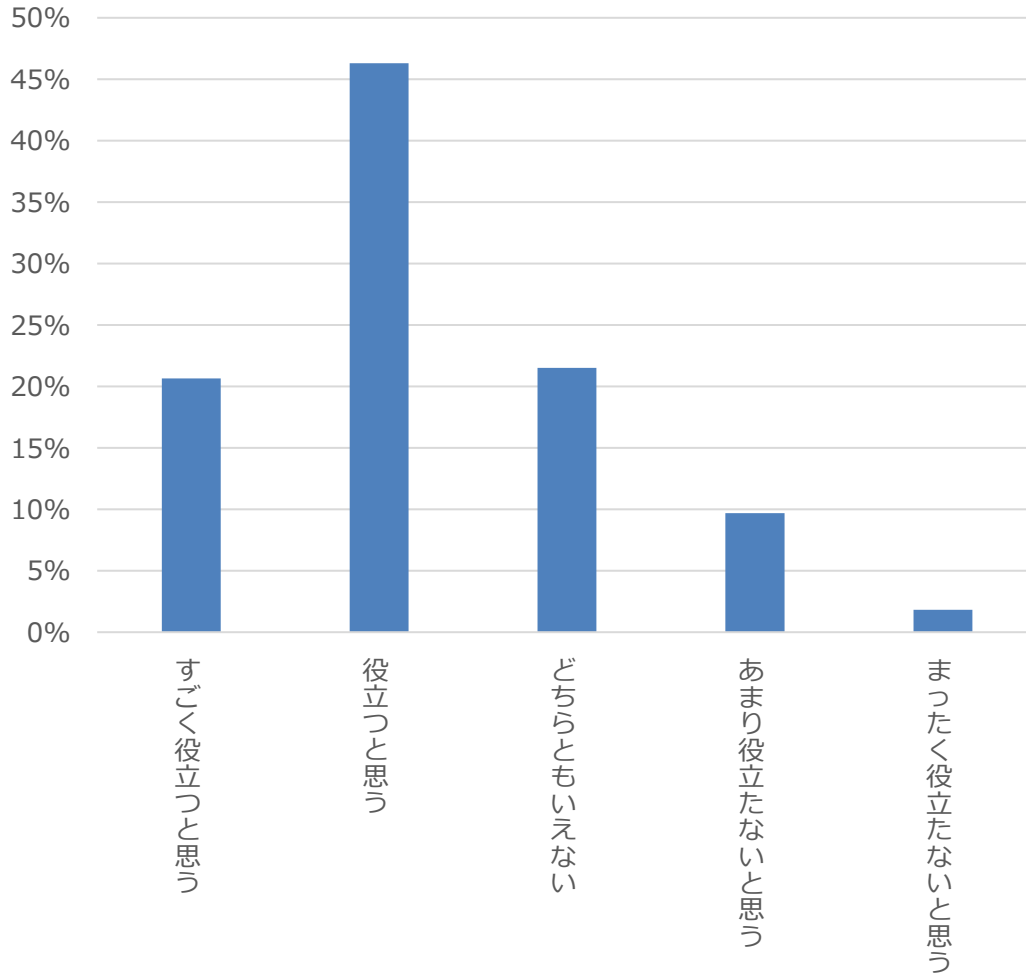
質問22:学業に力を入れることは、社会に出てから重要だと思いますか？



回答の選択肢	回答数	
はい	1551	78.3%
どちらでもない	362	18.3%
いいえ	67	3.4%
合計	1980	100%



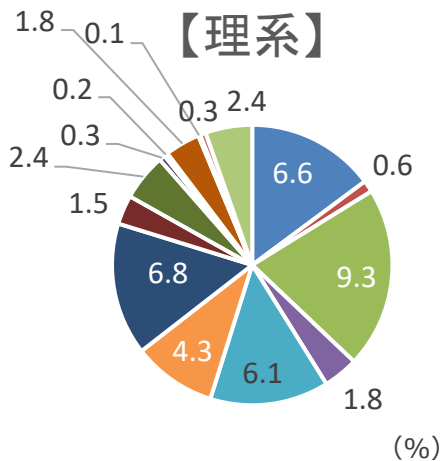
質問23:学校で学んだことが、将来役立ちそうだと、いま感じていますか



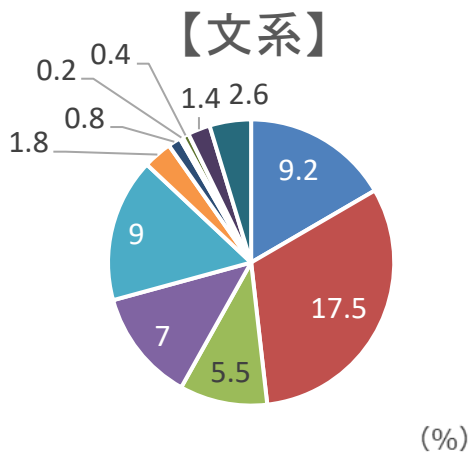
回答の選択肢	回答数	
すぐ役立つと思う	409	20.7%
役立つと思う	917	46.3%
どちらともいえない	426	21.5%
あまり役立たないと思う	192	9.7%
まったく役立たないと思う	36	1.8%
合計	1980	100



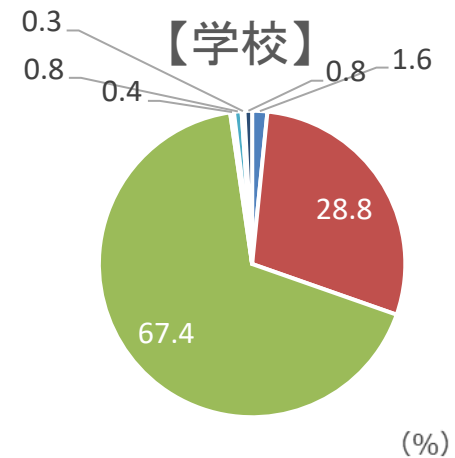
アンケート回答／学生区分 ※%の分母は全回答者数



- 【理系】機械系
- 【理系】数学系
- 【理系】電気・電子・情報工学系
- 【理系】物理・応用物理学系
- 【理系】建築・土木系
- 【理系】生物・生命科学系
- 【理系】化学・物質工学系
- 【理系】資源・地球環境系
- 【理系】農業・農学系
- 【理系】水産系



- 【文系】法学・政策系
- 【文系】経済・経営・商学系
- 【文系】社会・環境情報系
- 【文系】外国語・国際文化系
- 【文系】人文系
- 【文系】教育系
- 【文系】生活科学系
- 【文系】宗教・神学系
- 【文系】医療・保健系
- 【文系】体育・芸術・音楽系
- 【文系】その他文系



- 博士
- 修士
- 四年制大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 専門学校
- その他

調査まとめ

学生の学業に対するウェイトの置き方は、過去3年の調査より更に重くなっている。「大学は学びを深めるところ」という意識が、今の大学生にとっては当然のものとして受け入れられているのだろう。

学業であろうと、課外活動やアルバイトであろうと、学生自身が「自分が一番力を入れたこと」を評価して選考してほしい、と望むのは当たり前だが、その中で学業に向き合っている学生の割合がこれだけ増えてきているのであれば、選考する側としても「学業への向き合い方」「成績」などをもっと積極的に評価しても良いのではないだろうか。

理系学生のみならず文系学生も学業に向き合う学生が増えてきた今、改めて「学生の本分を全うする」ことにスポットライトを当て、採用に繋がっていくことを切に願っている。

なお、本調査は、2022年新卒採用の選考終了時期にも実施し、公表していく。

【本調査に関するお問い合わせ先】
一般社団法人履修履歴活用コンソーシアム
運営事務局 事務局長（株式会社パフ）保坂光江
電話03-5215-7807 FAX 03-5215-8222 e-mail info@risyu-katsu.jp

一般社団法人履修履歴活用コンソーシアムについて

**2017年7月1日設立の、全国各地域の就職・採用支援事業者で構成された団体です。
2018年6月1日に一般社団法人化いたしました。**

<設立趣旨>（ホームページ <http://risyu-katsu.jp/found/> より抜粋）

【学生の「学び」と、卒業後の「働く」をつなぐ架け橋として】

日本の新卒採用シーンでは、「学生がどのような考えや価値観に基づいて学業に取り組んできたのか」ということ（＝履修履歴）に対して興味を持たれることが、今までほとんどありませんでした。

それが結果として、「就活が始まると学生が授業に出なくなる」という現象につながり、「企業の採用活動は学業を阻害している」との批判を招く一因にもなっていました。

かかる状況を改善していくことを目的に、私たち就職・採用支援会社は共同で「履修履歴活用コンソーシアム」を設立いたしました。本コンソーシアムのサービスや活動を通じて、学生の「学ぶ意欲」が醸成され、社会で活躍するための基礎的なチカラを蓄えた人材が、大学をはじめとするすべての高等教育機関から多数輩出される世の中になることを願っております。

<役員>

代表理事：釘崎清秀（株式会社パフ 代表取締役社長）
理事：夏至正典（株式会社人材情報センター 代表取締役社長）
理事：新留正朗（株式会社ディスコ 代表取締役社長）
理事：林俊夫（株式会社マイナビ 就職情報事業本部 事業推進統括部 統括部長）
監事：落合誉（公認会計士）

【コンソーシアムに関するお問い合わせ先】
一般社団法人履修履歴活用コンソーシアム
運営事務局 事務局長（株式会社パフ）保坂光江
電話03-5215-7807 FAX 03-5215-8222 e-mail info@risyu-katsu.jp